

目 次

題 字 中条村長

岩 崎 由 一

村 章

歴代村長

歴代議会議長

中条村全図

発刊のことば

中条村長 岩 崎 由 一

第一編 原始・古代

第一章 縄文時代……………三三

第二章 弥生時代……………四〇

第三章 古墳時代……………四一

第四章 大化の改新……………四四

第五章 律令制度……………四六

第二編 中世

第一章 荘園……………五一

第二章 春日氏……………五七

第三章 守護地頭の設置……………六一

第四章 承久の乱……………六二

第五章 大塔合戦と地方豪族……………六三

第六章 城跡……………六五

第三編 近世

第一章 幕藩体制の確立……………七三

第一節 封建制度の確立……………七三

第二節 松代藩の成立……………七七

第三節	松代藩の行政地域区分	八四
第二章	政治のしくみ	八六
第一節	村の成立	八六
第二節	村役人	八七
第三節	触書と廻状	九三
第四節	村定め	一〇一
第三章	身分と戸籍	一〇七
第一節	松代藩における農民の序列	一〇七
第二節	切支丹禁制と宗門改め	一〇九
第三節	寺切・村切証文	一一九
第四節	五人組と人詰帳	一二五
第四章	土地制度と租税制度	一三三
第一節	検地	一三三

第二節 貢租……………一三九

第五章 産業と農民の生活……………一五一

第一節 農業……………一五一

第二節 村のくらし……………一五七

第六章 山論……………一七〇

第七章 農民一揆……………一七七

第一節 田村騒動……………一七七

第二節 天明山中騒動……………一八三

第三節 午札騒動……………二一九

第八章 身分差別……………二三五

第四編 近代

第一章 明治維新の变革……………二四五

第一節 中央集権政府の樹立と長野県の成立……………二四五

第二節	地方自治の成立過程	二五七
第三節	貢 租	三〇一
第四節	地租改正	三三五
第五節	徴兵制の確立	三六六
第二章	社会の近代化	三七三
第一節	町村制と村の合併	三七三
第二節	歴代村長・助役・収入役	三七九
第三節	村会議員の選挙	三八五
第四節	行政区と区長	三九九
第五節	役場の新築	四一六
第六節	区会の設置	四二二
第七節	衛生行政の進展	四二七
第八節	警察制度の発達	四四〇
第三章	郡会と県会	四四六

第一節	郡会と郡会議員	四四六
第二節	県会と県会議員	四四九

第四章	交通・通信	四五二
-----	-------	-----

第一節	道路	四五二
-----	----	-----

第二節	橋梁	四六七
-----	----	-----

第三節	郵便	四七二
-----	----	-----

第四節	電灯	四八七
-----	----	-----

第五節	有線放送	四九八
-----	------	-----

第六節	交通安全協会	五〇六
-----	--------	-----

第七節	渡舟場・並に馬車・バス	五〇八
-----	-------------	-----

第五章	農業の発展と衰退	五一〇
-----	----------	-----

第一節	水稻農業の発展	五一一
-----	---------	-----

第二節	麦作	五一八
-----	----	-----

第三節	雑穀	五二三
-----	----	-----

第四節	大 麻	五二七
第五節	たばこ	五二九
第六節	ホップ	五三二
第七節	工芸作物	五三四
第八節	養 蚕	五三六
第九節	畜 産	五四七
第十節	農業関係諸団体	五五四
第六章	地方財政のうごき	五九九
第七章	戦時体制への進行	六一七
第一節	町村自治の進展とその影響	六一七
第二節	昭和経済恐慌と満州事変	六一八
第三節	国家総動員法の発動	六一〇
第四節	大政翼賛会	六二三
第五節	統制強化	六二五

第六節	太平洋戦争の推移	六二九
第七節	戦記	六三四
第八節	在郷軍人会	六六九
第九節	遺族会	六七四

第五編 現代

第一章	戦後の諸改革	六七七
-----	--------	-----

第一節	占領政策と生活の窮乏	六七七
第二節	地方自治制度と選挙	六八一
第三節	自治体の広域化	六八三
第四節	地方財政の推移	七〇七
第五節	中条村新庁舎の建設	七二九
第二章	農地改革と農村の変容	七三三
第一節	農地改革と耕地移動	七三三

第二節	農業の変容と兼業化	七四三
第三節	変動する中条村の農業	七四九
第四節	農業振興諸事業	七七二
第三章	商工会	八一九
第一節	商工会の発足	八一九
第二節	中条村商工会	八二〇
第三節	村内の工場	八二五
第四章	登記所の開設と閉鎖	八二七
第一節	長野区裁判所栄出張所	八二七
第二節	長野地方法務局栄(中条)出張所	八二九
第五章	地方自治体の事業	八三〇
第一節	消防団制度	八三〇
第二節	環境衛生	八四四

第三節 保健……………八六九

第四節 社会保障……………八九五

第六章 中条村の諸機関……………九四三

第一節 中条村歴代三役……………九四三

正副議長・議会議員

第二節 農業委員会……………九四八

第三節 選挙管理委員会……………九五〇

第四節 監査委員……………九五二

第五節 固定資産評価審査委員会……………九五五

第六編 教育・文化・宗教

第一章 学校教育……………九五九

第一節 学制以前の教育……………九五九

第二節 近代的学校のはじめ……………九八一

第三節 中条村各小学校の創設……………九八四

第四節	中条中学校の創設	一〇六五
第五節	中条統合小学校の創設	一〇七九
第六節	実業補習学校の変遷	一〇九五
第七節	西部農学校の概況	一一〇二
第八節	学務委員及教育委員会制度の変遷	一一二二
第二章	社会教育団体	一一三四
第一節	婦人団体のあゆみ	一一三四
第二節	青年団と女子青年団	一一四〇
第三節	公民館	一一五一
第四節	老人クラブ	一一六七
第三章	神社	一一七四
第四章	寺院	一一九五
第七編	災害	

第一章	弘化の震災	二二二
第二章	火災	二二九
第三章	松代地震	二五〇
第四章	電害	二五八
第八編 民俗		

第一章	文化財の保護	二六三
-----	--------	-----

第一節	文化財保護法と中条村文化財	二六三
-----	---------------	-----

第二節	天然記念物	二七〇
-----	-------	-----

第二章	民俗資料	二七五
-----	------	-----

第三章	信仰	二七七
-----	----	-----

第一節	産土神と家々の神	二七七
-----	----------	-----

第二節	講	二八〇
-----	---	-----

第三節	葬制	二八二
-----	----	-----

第四章 庶民の生活・文化	一二九
第一節 年中行事	一二九
第二節 衣・食・住の生活	一二九
第三節 産 育	一三二
第四節 婚 姻	一三六
第五節 方 言	一三九
第六節 俚 諺(りげん)	一三六
第七節 伝説・昔話・民謡	一三四
第八節 若い女性の狼退治(実話)	一五一
第九節 中条村の地名	一三五
駐在員名簿	一三六
中条村年表	一三六
あとがき	一三九